

季刊

青葉の森から

第14号

秋

2009年10月10日発行

みんなのギャラリー

みなさんからの作品をお待ちしています。



表紙でキノコクイズ!!わかるかな?

(キノコの不思議のイベントから)

青葉区 藪 ひよりちゃん

夏が短かった分だけ秋は長かったつぷりと味わいたいと思います。秋は過ごしやすいから、一年のうちでも春と並んで人気があるはずなのに、人に聞くとときは夏と冬のどちらかになるのはなぜなのでしょう。するとたいていは、夏かな?でも春のほうがいいな?とか、冬も悪くないけど秋かな?などと答えられます。私の秋は、ちょっと不安感があります。寒くなって冬が近づいてくるからでしょうか。葉っぱが枯れて落ちるからでしょうか。生きることに懸命だった太古の記憶なののでしょうか。秋の風は寂しく胸にささります。青葉の森の生き物たち(特に哺乳類のみんな)も同じような気持ちになるのかしら。もしそうだとしたら、心あたたまる秋の散歩道になりそうです。

イベント報告

きのこ？ 木の子？ キノコのふしぎ？

7月18日、仲良くなった利用者の藪さんが、キノコの観察会を開いてくださいました。あいにくの小雨模様となってしまいましたが、森の中に入ると気にならない程度でしたし、キノコにとっても湿度が高く悪くなかったようです。

園内を歩いてさまざまなキノコを観察しながら、途中にキノコに関するクイズや自然界におけるキノコの役割など楽しいお話しをしていただき、素敵なひとときを過ごすことができました。

参加者はみな、すぐにキノコ探しに夢中になり、地面をなめるように眺めては、新しい世界にのめりこんでいました(藪さんにすっかり引き込まれてしまいました)。

キノコは、虫などの動物とちがって動いたりしないのに、子供にも人気があって、とても魅力的な存在だと思いました。それはやっぱり容姿がカワイイからでしょう。

この日見つけたキノコは、いろんな形があったけど、みんなそれぞれ、面白くて愛らしい姿で楽しませてくれました。

キノコのことを知って、キノコとみんなと仲良しになって、素敵な観察会でした。藪さん、みなさん、ありがとうございました。



観察したキノコたち。どう？カワイイ？ カワイイと思った人は、今度、森で探してみてね。

イベント報告

夏休み 自由研究かけ込み寺

夏休みの自由研究のお手伝いができればと工作教室を開きました。仙台市野草園の舟山氏に講師をしていただき、竹を使ったけん玉、やじるべえ、そして風鈴の3品を作りました。

見守られながら、時には手伝ってもらいながら、子供たちはできる限りの努力で、つぎつぎと作品を仕上げていきました。帰り、荷物が多くなり両手いっぱい竹の作品を抱えた子供達は、やり遂げた達成感を得て頼もしく感じられました。



のこぎりやなたといった使い方を間違えると危険な道具を使うため、親御さんに

できたぜ！
ピース





小さなナチュラリストがガイドする

青葉の森ってどんなところ！？



青葉の森の Jr.レンジャーたちが、夏の空に大きく羽ばたきました。定例イベント「親子でワクワク」の卒業生のみんなが、Jr.レンジャー(小さなナチュラリスト)として、一般のお客さんに自然の楽しさをガイドしてくれたのです。これまでの「親子でワクワク」の活動の集大成といえるようなイベントとなるように、数ヶ月前から Jr.レンジャーのみんなとガイド内容について相談し、準備を進めてきました。当日は、8組の Jr.レンジャーが各々の得意とする自然観察や草



ドキドキのトップバター

花遊びを順番に紹介してくれました。

トップバターを務めてくれたのは、村上ひいろ

ちゃんとまりんちゃん。最初でプレッシャーのかかる場面でしたが、落ち着いた滑り出しで、良い流れを作ってくれました。

次は、斎藤りょうどうくん、ほのかちゃん、金澤あゆいちゃん、れおくんの4人の番です。カタバミやギシギシの葉っぱを使った草花遊びを紹介してくれました。



10円玉ピッカピカ〜

青葉の森に大きなお城をかまえるアリさんについて話してくれたのは、山川はるかちゃんと熊谷まことちゃん。よく観察すると、今からおでかけするアリとおでかけから帰ってきたアリの違いがわかる

アリのお腹はこうなってるんだよ



なるほど、ってわかってる？

というのだけれど、みんなわかったかな？

舟山しゅうくん、そうくんはアリジゴクの楽しい捕まえ方、アリジゴク釣りを教えて

くれました。管理センターの床下は、アリジゴク釣堀場となったのですが、難しくてなかなか釣れません。釣り方のポイントはお早めにあわせることなのですが、上手に釣るには少し修行が必要のようです。



なかなか釣れないっす

滝沢みかこちゃん、ゆいこちゃんは、イタドリ笛の作り方を教えてくれました。作ってみると、使うイタドリの大きさによって音程が変わるんですね。さらに、ドレミファソラシドの音階の笛を用意して、

笛の作り方だよ



みんなでレッツプレイ!

イタドリ笛の演奏会を開きました。一人一音ずつテンポよく鳴らして上手に演奏できました。実は、曲によっては吹く番がなかった人も(笑)

最後に、菅原ゆうくんがオニヤンマを捕まえて見せてくれました。みんながアリジゴク釣りをしている間に頑張って捕まえてくれたのです。間近で見るとオニヤンマの大きさにみんなビックリ。こわいくらいです。そこで、半澤レンジャーがオニヤンマを催眠術で眠らせてくれました。これで安心と思ったとたん、オニヤンマは大空へ。楽しい夏の日を乗せて。



青葉の森がとってもキラキラした一日でした。

いろいろなことが
あったので

青葉の森ニュース



7月 管理センター前に柵を設置

管理センター前の土手の一部に柵を作りました。健脚でない方や時間のない方が森を散策しなくともきれいな花を楽しめるように、土が踏み固められないエリアを作りました。花壇ではないので、何かを植えたりはしていません。花が無いときも雑草（花壇では雑草ではないので雑草ではないのですが）が茂っているときもありますが、何卒ご理解いただき、良い時期に楽しんでいただければと思います。

7月16日 オオムラサキを確認

今年もオオムラサキを確認しました。合計3頭見れました。オオムラサキ好きの皆さん安心してください。

8月2日 モンキアゲハを確認

生息地を北に広げている蝶で、6月に東北大植物園で春型が確認され新聞に載りました。仙台はヒートアイランド現象でだいぶ暖まっていますから都合が良いのかもしれませんが。



8月 マムシのおでまし



マムシが管理センターの横のカタクリの道の入口にでました。5日間ほどいましたが、その後姿をみせなくなりました。森を歩くときは、ヘビが出るかもしれませんので、散策路から外れないように気をつけてください。

8月 スズメバチの巣

管理センターの裏の軒先にスズメバチの巣ができました。気づいたときは、ソフトボールくらいの大きさでしたが、9月下旬の時点で大玉スイカ2つ分くらいの大きさです。部屋の中から安全に観察できるので興味のある方は声をかけてください。冬になって空き巣になったら取り払う予定です。

8月5日 湧き水しらべ

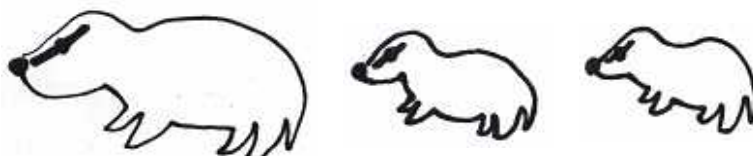
日本自然保護協会 (<http://www.nacsj.or.jp/>) が夏休みに行っている自然しらべの企画「湧き水しらべ」に参加しました。管理センター前の湧き水について調査をしてトビケラなどの生き物を報告しました。

9月5日 クリの季節ですが・・・

クリが実っていたので味見してみました。生栗1つで屁80発だそうですので食べ過ぎに注意しましょう。

9月10日 アナグマ親子

アナグマの親子が管理センターの手前の道を横断するところを見かけました。親に連れられた2頭の子アナグマの姿は本当にあいらしいです。繁殖成功したことがわかってうれしいですね。これから冬眠のための腹ごしらえなのかな。



いつか…やってみよう

体にいい野草茶

森にはくすりになるものがいっぱいあるみたいだよ。これからいろいろ試してみようかな。

今回はスギナ茶にチャレンジしてみた。スギナはつくしの葉っぱだよ。どこにでも生えている草だから手に入りやすいけど、あまりおいしそうには思えない。でも、それだけに体に良いつことなのかな。良薬苦しうというからね。薬局にも置いてあったりするし。

スギナ茶は簡単。スギナをわさわさとつんでよく洗い、天日干しします。十分乾燥したらできあがり。さっそくみんなで飲んでみたよ。



乾燥させたスギナ



ぬるめのお湯で出しました

効果は続けないとわからないけど、飲み続けられそうにない(弱気、だって味が…) つづく？

スギナ

生薬: 問荊(もんけい)

薬効: 利尿、咳止め、解熱など



いただきます



おいしかった人 3名
もう飲みたくない人 4名
好みの分かれる味でした

森のひとこま

地面から青い空 ソライロタケ

キノコのイベントが終わってからというもの、毎日の見回りの時についついキノコを探して目線が地面に向いてしまいます。お花を探していても目には下に行きませんが、キノコの場合は草と草の間をのぞくような感じで、また違った目線になります。少しでも目下がるように首がやや斜め前に傾く感じ。変だと思われるかもしれませんが、今となっては、この目線と姿勢が心地よいのです。

さて、そんな目線で歩いていると、とてもキレイな青いキノコが目飛び込んできました。大きさは5,6センチくらい、軸が細めですらっとした形です。そして、夏のじめじめしたうとうしい森に爽やかすぎるブルー。南の島の海、頼んでないのにお母さんに洗濯されたブルージーンズ。

キノコを見てドキッとしたのは初めてです。青葉の森では、アカショウビンの声を聞いた時以来のドキッです。なぜかキョロキョロしてしまいました。気持ちを落ち着かせて今できることを考えた結果、



写真を数

枚。それと目に焼きつけて、頭にたたき込みました。図鑑で調べたら、キノコの名前はソライロタケ、食べれるかどうか不明でなんですって。全体がブルーだから、あまり食べようとは思わないのかも。

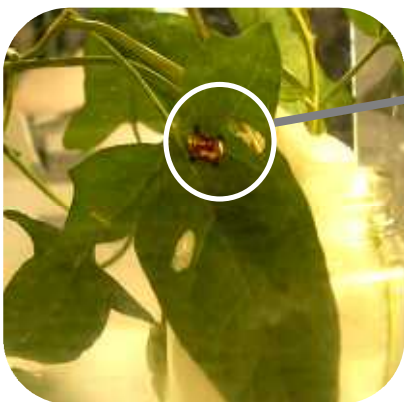


ソライロタケ イッポンシメジ科
花木広場にて発見

親は金、でも子は黒かった

ジンガサハムシの里親日記

晴れた午後、キラキラと金色に輝く虫（ジンガサハムシ）を見つけました。あまりにキレイなので、しばらく観察ケースに入れていたらタマゴを産みました。あらあら、これは育てなきゃ。というわけで、ひと夏のジンガサハムシの里親となったのです。



親のジンガサハムシ。

右の写真の方が食事が進んだところ。穴が増えています。ジンガサハムシは葉っぱを食べて、楕円形の穴をあけます。



タマゴの写真を撮り損ねてしまいました。こんな形です。



茶色で四角くて、ダンボールのようです。



7月10日撮影

7月3日に生れた幼虫です。背中に自分の脱皮した皮を乗せています。ジンガサハムシはフンは乗せないようです。そのため、白くてきれいな姿です。けど、フンを乗せないと擬態にならないような気がします。

7月23日撮影

いつのまにか動かなくなっていました。どうやら、さなぎになったようです。体の前の方が成虫のような形に変わってるのが見えます。



7月27日撮影

成虫になりました。タマゴから成虫まで約1ヶ月でした。最終的に8匹が羽化、森に放しました。体の色はみんな黒で金色のものはゼロでした。親がキレイだっただけに、同じような子を期待していましたが、地味な色の子ばかりでちょっと残念。ジンガサハムシは幼虫、成虫ともヒルガオの葉を食べるので育てやすく、葉っぱに穴があいて食べたことがわかるのも楽しかったです。

これからのイベントのお知らせ



親子でワクワク「森とあそぼう！！」

毎月第2土曜日 午前10時～11時30分
集合場所：青葉の森 管理センター

子どもと保護者とで一緒に自然に親しみます。
青葉の森の秋を楽しみましょう。



森を体感「紅葉の森を歩こう！！」

11月15日(日) 午前9時～11時30分
集合場所：青葉の森 管理センター

今年の森の木々は、どんな色づきを見せてくれるかしら。
のんびりと秋の里山歩きを楽しみましょう。



森でクラフト 「ファイバーアートでとっておきのキャンドル」

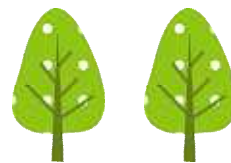
12月13日(日) 午前10時～14時
集合場所：青葉の森 管理センター

葉脈や木の実などを使って、素敵なキャンドルスタンドを作ります。今年のホーリーナイトは、手作りのキャンドルを囲んでみてはいかがでしょうか。

募集についての詳しいことは、毎月発行の“市政だより”をご覧ください
お問い合わせ・お申し込み
青葉の森緑地管理センター 022-263-2101



団体利用のご案内



青葉の森で里山歩きを楽しみませんか

お友達同士で、サークルや地域のイベントで、四季折々の自然を感じながら青葉の森を散策しませんか。青葉の森のレンジャーが森をご案内いたします。

もちろん無料ですよー

5名様以上からお引き受けいたします(最大40名まで)
予め相談の上、人数や参加される方々の年齢および趣向等に応じた散策コースやガイドプランを提案させていただきます。また、学校の環境教育、野外活動に関する授業のお手伝いもいたします。お気軽にご相談ください。

?これって…なんだべ?

—森で見つけたヘン?!なもの—

野道を歩いていると、ススキやヨモギなどの葉っぱの先に、枯葉色の“ヘンなもの”がぶら下がっていることがあります。直径1cmくらい、長さは3cm



くらいの“ヘンなもの”は葉っぱの裏から細い糸でペンダントのようにぶら下がっていて、触れてみるとカサカサ

した繭のようです。

これは、コガネグモの仲間のオオトリノフンダマシというクモの卵のう(卵が入っている袋)なんです。卵のうの近くを探して見ると、葉っぱの裏に小さな(1cmくらい)黄色っぽいコブのようなものがへばりついていることがあります。これが、オオトリノフンダマシの母グモで、ツヤツヤした三角おむすびのような腹部の形と背中丸い目玉のようなふたつの模様が特徴です。近づいてもじっとしたまま逃げないので葉っぱを少し揺らしていたずらしてみても、そのくらいでは動く様子がありません。オオトリノフンダマシは虫を食べているはずなのに、近くに網もなく歩き回りもしないでどうやって獲物をつかまえるのでしょうか。

実は、オオトリノフンダマシが活動するのは夕方から夜にかけてなんです。日が沈んで薄暗くなり始めるころから網を張り始めるのですが、昼間のトロそうな印象からは予想できないほどスピーディーに動きます。そして夜の間、獲物を捕らえるために張った網は朝になるとたたくで回収し、食べて消化してしまいます。

ところで…オオトリノフンダマシの腹部にはカマキリや宇宙人の顔のようにも見えるふたつの目玉のような模様があります。そして目玉模様のまわりを縁どるように暗褐色の輪があるのですが…実は、この輪のような模様は常に動いているんです。その

スピードはとてもゆっくりですが、じっと見ているとわかるので母グモを見つけたらぜひ見てください。いね。

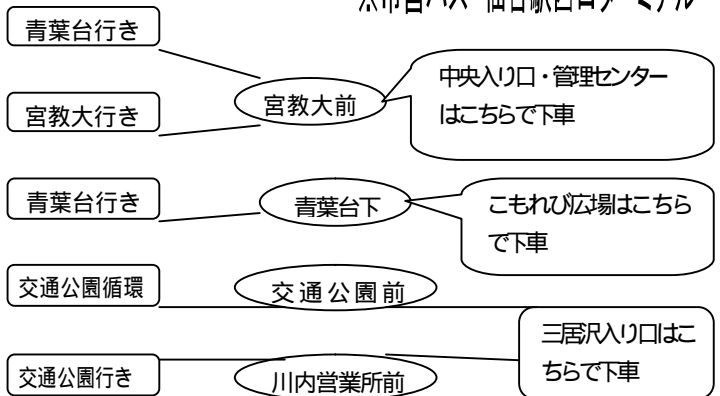


散歩の足を野山までのばして歩くと、いろいろな発見があって帰り足がついつい遅くなってしまいます。(半)

青葉の森緑地への交通の便



※市営バス 仙台駅西口ターミナル



休館日：毎週月曜日（祝日の場合は翌日）年末年始（12月28日～1月4日）

開館時間：9:00～16:30

発行：(財)仙台市公園緑地協会 企画・編集：仙台市青葉の森緑地 管理センター

〒980 0845 仙台市青葉区荒巻字青葉 260

:022 263 2101 Fax:022 263 2102

http://www.sendai-park.or.jp/web/guide/info_aoba.html (お知らせをクリックするとイベント情報がご覧になれます)